

# ミステリ読書案内

2025. 1. 3 発行元

第 626 号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

## 最近出た本の中から

最近出版された本の中から四冊を取り上げてみることにする。今回もシリーズもの中心になった。シリーズものは定期的な出版されることが多いので、次回の配本時期が予想できて楽しみに待つことができる。

### 仙台の大型書店に行って

1 月に 4 ヶ月ぶりに仙台の大型書店に行ってみた。私の住んでいる小さな地方都市の書店には並ばない本を探すことができた。東京創元社の単行本などは印刷部数が少ないようで地方都市にはほとんど回って来ないのだ。

やはり大型書店の本棚を眺めるのは楽しい。新刊棚、既に読んでしまった本もあるが、中小出版社のチェックしていなかった本も何冊か見受けられる。題名が「本格ミステ

リ」らしき作品もあり、買おうか買うまいか悩む。最後は財布との相談になってしまう。単行本は本当に高価なものになってしまった。

文庫本は地方にいても大抵の本を買うことができるのだが、「だいわ文庫」などは入荷しない場合もある。大型書店はその点ずっと本は揃っている。目指すものが買えた。

今時、ネットで購入すれば簡単なのだと思うのだが、なかなかその決心には至らない。昔人なので、実際に本の実物に手を触れて感触を楽しみながら選びたいものだ。

### 渡辺裕之『孤高の傭兵』

1 1 月に祥伝社文庫集から出た本。『傭兵代理店』シリーズの 3 2 巻目。前作で一区切りだったので本書から次なるスタートになる。『傭兵代理店・改』だったのが『傭兵代理店・斬』になった。

話の中心は「ケルベロス・チーム」の明石終真に。終真は前作で新たにチームに加わった浅野と岡田の出身地である秋田県阿仁を訪ねるところから話は始まる。前半のマタギと熊狩りの話はおまけのようなもの。終真は藤堂ところへ行くために羽田からクアラランプール行きの飛行機に乗る。ところが台湾近くなった時、テロ組織によってハイジャックされてしまった。終真はひとりでこの窮地を脱しなければならなくなった。

### 秦 建日子『Across the Universe』

6 月に河出書房新社から出た本。『And so this is Xmas(サイレント・トーキョー)』『Change the World』に続く第三作。完結編。「World」の次は「Universe」だった。スタートは東京の恵比寿、渋谷で起きた連続爆弾テロ事件。そこから始まった世田と天羽たちの動き。

前作を受けて、爆弾テロで両目を失明した印南綾乃がその悲劇から立ち直っていく姿が描かれる。そこに絡まって次なる犯行を画策するように見える AI のアイコ。捜査の過程で天羽は行方不明になり、世田たちは空回りに近い状態に追い込まれる。過去のいろんな場面が途中に挟まってくるので読むときには要注意。映画のシナリオのようなセリフと行動中心の文体が秦ミステリの特徴をよく現している。果たしてどんな世界の結末が…。

### 高里椎奈『黒猫とショコラトリーの名探偵』

1 0 月に角川文庫から出た本。『うちの執事が言うことには』から始まるキャラクターミステリの新シリーズ開幕になるのか？ ショコラトリーの二階で私立探偵事務所を開いている志貴恵大が主人公。名探偵になりたいと願うが、頼まれる仕事は行方不明になった猫を探す件ばかり。第一話の『猫と科学者』で瀬橋大学情報科学科の研究室所属している新家明と出会う。明は天才科学者で生成 AI の「ゾーイ」を立ち上げており、猫の行方不明の裏にある共通項を推察していく…。とは言いながら、志貴と明の関係も AI の分析も今一つしっくり伝わって来ない。ミステリとしての完成度は高くない。

### 知念実希人『放課後ミステリクラブ5 龍のすむ池事件』

1 0 月にライツ社から出た本。児童書。シリーズ五巻目。本屋大賞候補に取り上げてもらった関係でどの巻も平台に並べられるようになった。本書では巻末に子どもたちからの反響ハガキを多数紹介しているのも特徴になっている。世の中で話題が広がっていくことが嬉しい。少しでも子どもたちが読書に向いてくれるのなら…。

今回は学校の池の中に龍の姿が現れたのが発端。放課後ミステリクラブのメンバー神山美鈴が朝登校した時、「池の中に変なものがある」という話を聞く。池に行ってみると中はよく見えない。美鈴は持ち前の運動能力を発揮して近く木の枝に飛び乗って上から覗いてみると、かすかに龍のような姿が見えた気がしたのだが…。予鈴のベルが鳴って時間切れ。放課後に柚木陸と辻堂天馬と一緒に調査に向かう…。その時担任の真理子先生から別件の職員室の机からお菓子が消える事件の解決を依頼されてしまう。いつも通りの「読者への挑戦」が示されて、二つの謎の解明がうまくできるのだろうか…。